

■ ガイドライン追記事項【1】

マイクのご利用について

- 複数名の方がマイクを使い回しすることにより、新型コロナウイルスの飛沫感染や媒介のリスクが考えられるため、弊館では「話者1名に対してマイク1本」のご利用をお願いしています。ただし、利用者様の都合により、複数名で1本のマイクを使い回されたい場合は、下記①～③を参考に運用いただきますようお願い申し上げます。

ケース① | スタンドマイクのご利用 (話者がマイクに触れない場合)

話者はマスクをご着用下さい。複数名で1本のマイクをシェアする場合は、マイクやスタンドに触れないことを前提に、使い回しを認めます。

演出の都合上、マイク位置を変更する場合 (マイクに触れる場合) は、都度、手指の消毒・当該マイクの消毒をお願いします。

ケース② | ハンドマイク・ピンマイクのご利用 (話者がマイクに触れる場合)

話者はマスクをご着用下さい。また、ご利用前後の手指消毒・当該マイクの消毒を徹底いただくことで、使い回しを認めます。

ケース③ | マスクを外してのご利用

(例) 音楽ライブ・ミュージカル等、舞台演出のためマスクを外す必要がある場合

ご利用前後の手指消毒・当該マイクの消毒に加え、紫外線発生器による除菌 (一回につき約20分間) を徹底いただくことで、使い回しを認めます。紫外線発生器は各ホールの舞台袖に設置しています。詳しくは舞台スタッフまでお問合せ下さい。

ご注意とお願い

本件は、弊館として複数名でのマイクの使い回しを推奨するものではありません。

全国の事例において、マイクを介してのウイルス感染も確認されていることから、冒頭にある通り、「話者1名に対してマイク1本」でのご利用を強く推奨いたします。

■ ガイドライン追記事項【2】

演出上、手つなぎ・身体が触れ合う場合

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、舞台上の演者同士であっても、「手つなぎ」「身体が触れ合う」等の行為をご遠慮いただいているところです。

但し、「手つなぎ」「身体同士が触れ合う」等が認められない場合に、公演そのものが成り立たないものについては (例: パレエ、ダンス等)、より一層の感染症対策を講じていただくことを条件に、個別にヒヤリングをさせていただいた上で、「手つなぎ」「身体同士が触れ合う」等を例外的に認める場合がございます。詳しくはお問合せ下さい。

■ ガイドライン追記事項【3】

賞状・贈呈品等の授与について

- 賞状・贈呈品等の授与（手渡し）によって、新型コロナウイルスの飛沫感染や媒介のリスクが考えられるため、下記ルールに沿って運用していただきますようお願い申し上げます。

1. 渡す方・受取る方の両者はマスクを着用して下さい。
2. 渡す方は可能な限り使い捨て手袋を着用して下さい。
3. 授与の際に会話が伴う場合は、必要最低限のセリフをお願いします。
4. 授与の際の握手はご遠慮下さい。

※「名刺交換会」等、類似するものについても本ルールに沿って実施して下さい。

ご注意とお願い

本件は、弊館として「賞状・贈呈品等の授与（手渡し）」を推奨するものではありません。可能な限り直接の手渡しはせず、例として「賞状盆を介して間接的に授与する」等、リスクの少ない方法で実施いただきますよう、お願い申し上げます。

■ ガイドライン追記事項【4】

ホール公演時の集合写真撮影について

- ホール舞台上で集合写真等の撮影を実施される場合、下記ルールをお守りいただけますよう、お願い申し上げます。

1. 一度に撮影できる最大人数は、施設利用ガイドライン p.4「大きな発声を伴わない場合」（1名あたり 2.25 m²）定める最大利用人数を上限とします。
2. 隣同士の肩や腕が密着しないよう、最低でも 10cm 以上の間隔を取って下さい。
3. 撮影中の会話は厳禁とし、かつ短時間で終わられるよう心がけて下さい。
※シャッターを切る際の掛け声はご遠慮下さい。
4. 撮影前後はマスク着用を徹底し、会話はお控え下さい。

ご注意とお願い

本件は、弊館として集合写真撮影を推奨するものではありません。集合写真撮影を実施される場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、より一層の意識をお持ちになり、上記ルールをお守りいただいた上で、実施いただきますよう、お願い申し上げます。